令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	6	1	5	県営たん水防除事業（前新田地区）	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	産業環境
	基本施策	農業
	施策の内容	生産基盤の強化と保全
目的	農業用排水機場等の改修を行い、恒久的なたん水防止対策を図る。	
主たる内容	排水機場（前新田）を常に安全かつ適正に稼動できるよう改修を行う。 ○事業主体　愛知県 ○事業費負担割合　国：50%、県：35% 市：15%	
位置づけ	関連計画	刈谷市国土強靭化地域計画
	根拠法令	土地改良法
対象者	市民	
事業期間	平成２７年度　～　令和６年度	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　■その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・前新田地区たん水防除事業負担金 既設排水機場取壊撤去 排水ポンプ移設 設計委託	・前新田地区たん水防除事業負担金 既設排水機場取壊撤去 設計委託	・前新田地区たん水防除事業負担金 既設排水機場取壊撤去 設計委託	・前新田地区たん水防除事業負担金 既設排水機場取壊撤去 付替道路及び水路整備 設計委託

成果	既設排水機場の取壊しが一部完了し、たん水防除事業の進捗が図れた。
課題	

	指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	事業進捗率（%）	79.3	88.6	98.3	100.0	100.0
活動指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		5,900	18,990	22,350	13,800
財源	特定財源	0	0	0	0
財源	一般財源	5,900	18,990	22,350	13,800
職員人件費　②		0	0	1,304	1,318
総事業費（①＋②）		5,900	18,990	23,654	15,118

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳

合計　22,349,910 円

負担金、補助及び交付金　22,349,910 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			県営たん水防除事業（前新田地区）	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			

CHECK＜評価＞　D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	老朽化した施設を更新することにより、浸水被害を軽減させることができるため、市民生活の安全性が高まる。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	高い	補助制度を活用し、市の負担軽減を図り、事業進捗や経済性が高く効率的な事業である。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	県営事業であるが、土地改良事業であることから、合意のもと進める必要があり、市が主体となって調整を行い、事業の進捗を図る必要がある。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	早期に整備を行うことにより、市民サービスの向上に大きく貢献できる。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

・早期完了に向けて、施行者である愛知県と綿密な打合せを行う。

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	6	1	5	県営たん水防除事業（井ケ谷地区）	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	産業環境
	基本施策	農業
	施策の内容	生産基盤の強化と保全
目的	農業用排水機場等の改修を行い、恒久的なたん水防止対策を図る。	
主たる内容	井ケ谷排水機場を常に安全かつ適正に稼働できるよう改修を行う。 ○事業主体　愛知県 ○事業費負担割合　国：50%、県：37% 市：13%	
位置づけ	関連計画	刈谷市国土強靭化地域計画、境川・猿渡川流域水害対策計画、境川水系流域治水プロジェクト
	根拠法令	土地改良法
対象者	市民	
事業期間	令和３年度　～　令和１１年度	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　■その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・法手続業務委託	・事業負担金 全体実施設計	・事業負担金 全体実施設計	・事業負担金 全体実施設計

成果	令和７年度の用地買収及び工事着手に向け、排水機場の詳細設計を進めた。
課題	

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	事業進捗率（%）	0.1	2.1	2.6	5.4	32.7
活動指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		197	5,200	1,187	7,150
財源	特定財源	0	0	0	0
財源	一般財源	197	5,200	1,187	7,150
職員人件費　②		416	1,280	1,304	1,318
総事業費（①＋②）		613	6,480	2,491	8,468

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	1,186,900 円
負担金、補助及び交付金	1,186,900 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			県営たん水防除事業（井ケ谷地区）	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			

CHECK＜評価＞　D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	老朽化した施設を更新することにより、たん水被害を防止することができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	高い	国庫補助を活用した県営事業であり、市の負担軽減が図れるため、事業進捗や経済性が高く効率的な事業である。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	県営事業であるが、土地改良事業であることから、合意のもと進める必要があり、市が主体となって調整を行い、事業の進捗を図る必要がある。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	早期に整備を行うことにより、市民サービスの向上に大きく貢献できる。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

・事業効果を高めるため、早期完了に向け関係機関と協議を行う必要がある。

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	2	雨水貯留浸透事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	雨水対策（内水対策）
目的		既存施設の利活用による雨水貯留浸透施設の整備を促進し、河川への流出量及び浸水被害の軽減を図る。
主たる内容		雨水対策マスタープラン（平成27年度策定）に基づく流出抑制施設の整備を行う。 ○貯留浸透施設整備 ・ため池貯留 ・田面貯留
位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン、境川・猿渡川流域水害対策計画
	根拠法令	河川法、特定都市河川浸水被害対策法
対象者		市民
事業期間		平成２８年度　～　令和２７年度
実施方法		□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
――――――	・水田貯留施設整備工事 8箇所	・水田貯留施設整備工事 5箇所	・水田貯留施設整備工事 20箇所 （R5繰越分） ・西池改修工事（調整桝改修）

成果	水田を活用した貯留施設を整備したことにより、下流の河川等への雨水流出量の抑制を図ることができた。
課題	

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	総合治水対策量の内、既存施設の利活用分6.72万㎥の進捗率（%）	―	0.6	1.0	2.5	5.4
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		0	490	7,012	17,976
財源	特定財源	0	0	0	16,100
	一般財源	0	490	7,012	1,876
職員人件費　②		0	1,559	898	1,745
総事業費（①＋②）		0	2,049	7,910	19,721

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	7,012,100 円
工事請負費	7,012,100 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			雨水貯留浸透事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			

CHECK＜評価＞　D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	特定都市河川浸水被害対策法に定められた流域水害対策計画や市の雨水対策マスタープランに基づく事業であり、水害リスクの低減を図ることで、市民の安心安全が高まるため、必要性が高い事業である。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	既存の水田やため池等を活用し雨水を貯留するため、安価で効果的に進めることができる。 一方で、実施にあたり農業関係者等との綿密な協議・調整に時間を要する事業である。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	流域の最下流に位置する刈谷市の地形特性から、市が積極的に事業を推進することで、市民の安心安全と財産を守ることのできる事業であるため、妥当性の高い事業である。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、各種対策を進めることにより、床上浸水などの水害の危険性が少なくなり、市民生活の安心安全を高めることができる。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

農業関係者や土地所有者等と協議しながら事業進捗を図る。

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	2	準用河川草野川改修事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	流域内の宅地化が進み雨水流出量が増加したため、河川改修を行い浸水被害の解消を図るとともに、魚類・昆虫類等の自然とのふれあいを可能とする河川空間を創造する。	
主たる内容	○準用河川草野川の改修 ・改修延長　505m ・調整池整備　2箇所	
位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画
	根拠法令	河川法・特定都市河川浸水被害対策法
対象者	市民	
事業期間	平成６年度　～　令和１３年度	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・草野池護岸改修工事　191m ・越流堰築造	・調整池Ａ遮水矢板設置　258m	・調整池Ａ護岸工事（草野池側）　86m ・調整池Ｂ基本設計	・調整池Ａ護岸工事（草野池側）　120m

成果	計画の通り進めた。
課題	調整池Ｂ整備に向けた関係機関との調整が必要である。 地元土地改良区からの草野池の浚渫要望について、調整が必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	河川改修率（%）	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1
活動指標	調整池Ａ整備率（%）	23.0	39.5	48.5	61.4	100

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		107,749	124,793	58,076	71,000
財源	特定財源	32,520	39,500	15,000	70,966
財源	一般財源	75,229	85,293	43,076	34
職員人件費　②		3,937	2,823	3,184	3,295
総事業費（①＋②）		111,686	127,616	61,260	74,295

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	準用河川改修事業費補助金（県）
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳

合計	58,075,600 円
委託料	2,750,000 円
工事請負費	55,325,600 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			準用河川草野川改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			

CHECK＜評価＞　D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	浸水被害解消のため、河川改修を実施する必要がある。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	経済性を考慮し限られた用地で、河川の流下能力と洪水調整機能の向上に努めている。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	準用河川草野川の管理者は市であることから、市で実施することが妥当である。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	浸水被害の解消を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

早期完了に向け、関係機関と協議しながら事業進捗を図る。

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	9	1	3	水防倉庫整備事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	都市基盤
基本施策	治水・水辺環境
施策の内容	雨水対策（内水対策）

目的	主たる内容
北部地区の基幹水防倉庫、ため池用水防倉庫の整備及び昭和55年以前の旧建築基準で建てられた水防倉庫の建替を行い、水防力の向上を図る。	水防倉庫の整備を行う。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	令和元年度　～　令和８年度
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・水防倉庫実施設計　3箇所 （R2繰越分） ・造成工事　1箇所	・基幹水防倉庫新設　2箇所 ・資器材購入	（R4繰越分） ・水防倉庫建替　2箇所 ・資器材購入	（R5繰越分） ・資器材購入

成果	井ケ谷水防倉庫と今岡水防倉庫を建替し、資器材を追加購入したことで水防力の向上を図った。
課題	

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	水防倉庫整備累計箇所数（箇所）	1	3	5	5	6
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		43,506	107,575	31,807	5,612
財源	特定財源	39,078	21,000	31,807	5,612
財源	一般財源	4,428	86,575	0	0
職員人件費　②		2,385	3,689	1,688	1,783
総事業費（①＋②）		45,891	111,264	33,495	7,395

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	社会資本整備総合交付金 前年度繰越金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	31,807,138 円
需用費	5,119,598 円
役務費	814,000 円
工事請負費	24,042,700 円
備品購入費	1,830,840 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			水防倉庫整備事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
9	1	3			

CHECK＜評価＞　D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	基幹水防倉庫を北部及び中部に整備し、水防力の向上を図る。また昭和５５年以前の旧建築基準で建てられた水防倉庫の改築を行い、機能を維持する必要がある。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	各地区に基幹水防倉庫を整備することで、水害が発生した場合、効率よく対応できる。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	水害発生時は市が主体となって対応することから、市で実施することが妥当である。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	水害の予防、減災を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

関係機関と調整しながら事業進捗を図る。

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	6	1	5	農業用施設等管理事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	産業環境
	基本施策	農業
	施策の内容	生産基盤の強化と保全
目的	たん水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。	
主たる内容	農業用排水機場などの施設を常に安全かつ適正に稼動・運用できるように保守管理業務などを行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託	・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託	・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託	・排水機場等の保守点検 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・排水路除草委託

成果	計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。
課題	排水路等の草刈り及び清掃の要望が増加し、迅速な対応が困難になっている。

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	34,470	38,548	40,622	42,362
財源 特定財源	15,132	2	17,128	15,672
財源 一般財源	19,338	38,546	23,494	26,690
職員人件費　②	8,404	7,228	6,292	5,427
総事業費（①＋②）	42,874	45,776	46,914	47,789

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	行政財産目的外使用料 農業用排水機維持管理費補助金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	40,622,071 円
需用費	15,589,929 円
役務費	10,855,528 円
委託料	14,155,934 円
使用料及び賃借料	2,860 円
原材料費	17,820 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	6	1	5	農業用施設等補修事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	産業環境
	基本施策	農業
	施策の内容	生産基盤の強化と保全

目的	たん水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の適正な維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。	主たる内容	農業用排水機場や農業用排水路の浚渫と、農業用排水機場の補修工事や農業用排水路の緊急修繕を行う。

位置づけ	関連計画	
	根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・農業用排水路等浚渫工事 7箇所 ・農業用排水路等補修工事 9箇所 ・農業用排水機場の修繕 4箇所	・農業用排水路等浚渫工事 6箇所 ・農業用排水路の補修工事 7箇所 ・農業用排水機場の修繕 3箇所	・農業用排水路等の浚渫工事 3箇所 ・農業用排水路の補修工事 4箇所 ・農業用排水機場の修繕 5箇所	・農業用排水路等の浚渫工事 ・農業用排水路の補修工事 ・農業用排水機場の修繕（R5繰越分） ・西永井田地区 浸水対策調査業務委託 ・今川排水機場 ポンプ吸気弁他修繕

成果	農業用排水機場及び農業用排水路の浚渫を計画的に実施したことや、迅速に補修工事等を実施したことにより、本来の排水機能の確保を図った。
課題	施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、計画的に工事を行う必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費 ①		31,950	18,513	27,027	42,394
財源	特定財源	1,341	0	3,916	7,694
財源	一般財源	30,609	18,513	23,111	34,700
職員人件費 ②		9,615	10,616	9,591	10,079
総事業費（①＋②）		41,565	29,129	36,618	52,473

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	土地改良事業費補助金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度 事業費内訳	
合計	27,027,000 円
需用費	6,303,000 円
委託料	1,694,000 円
工事請負費	19,030,000 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	6	1	5	農業用施設整備事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	産業環境
基本施策	農業
施策の内容	生産基盤の強化と保全

目的	主たる内容
農業用排水機場を改修し、その機能保持と性能の向上及び耐用年数を確保することにより、たん水被害の防止を図る。	土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場等の実施設計及び排水ポンプ設備などの分解整備や改修等を行う。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・泉田排水機場の実施設計及びポンプ設備 ・泉田排水機場、小山排水機場のポンプ整備ほか ・適正化事業拠出金（負担金）	・中川樋門の実施設計 ・中川排水路の浚渫 ・小山排水機場の実施設計及び樋門の更新 ・適正化事業拠出金（負担金）	・適正化事業拠出金（負担金） （R4繰越分） ・中川樋門　ゲート更新	・弁天排水機場の除塵機整備 ・泉田排水機場の除塵機整備ほか ・適正化事業拠出金（負担金） （R5繰越分） ・小山排水機場　ポンプ整備 ・弁天、泉田排水機場　実施設計業務委託

成果	中川樋門の更新を行い、本来の排水機能の確保を図った。
課題	施設の老朽化に伴い整備費が増加するため、工事費の平準化を図る必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	改修ポンプ数（基）	1	1	0	1	2
活動指標	改修排水機場数（箇所）	2	2	0	3	3

他市との比較検証	近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		114,991	50,804	34,815	227,837
財源	特定財源	75,600	0	19,800	193,200
財源	一般財源	39,391	50,804	15,015	34,637
職員人件費　②		2,688	2,861	4,450	4,497
総事業費（①＋②）		117,679	53,665	39,265	232,334

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	土地改良施設維持管理適正化事業費交付金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	34,814,558 円
工事請負費	19,800,000 円
負担金、補助及び交付金	15,014,558 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	1	河川施設等管理事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	浸水被害を防止するため、排水機場などの河川施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。	
主たる内容	排水機場などの河川施設を安全かつ適正に稼動・運用できるように保守管理業務などを行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託	・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託	・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託	・河川施設の保守点検等 ・排水機場の清掃委託（塵芥処理） ・電気保安業務委託 ・河川施設の除草委託 ・排水ポンプ車の運用委託

成果	計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。
課題	新池及び西池の維持管理方法について検討する必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	81,645	76,336	88,206	95,455
財源　特定財源	3,785	2,633	5,424	5,198
財源　一般財源	77,860	73,703	82,782	90,257
職員人件費　②	8,404	7,680	6,215	5,815
総事業費（①＋②）	90,049	84,016	94,421	101,270

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	行政財産目的外使用料 市町村権限移譲交付金 排水機場維持管理受託収入
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	88,206,158 円
報償費	944,418 円
需用費	18,441,168 円
役務費	21,527,690 円
委託料	46,425,092 円
使用料及び賃借料	31,350 円
原材料費	91,740 円
備品購入費	744,700 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	1	河川施設等補修事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	都市基盤
基本施策	治水・水辺環境
施策の内容	河川施設等の改修

目的	主たる内容
排水機場と排水路の排水能力の保持及び衛生面の向上を図り、浸水被害の防止や、市民生活の安全性を確保する。	準用河川や排水路、排水機場の浚渫と、準用河川や排水路の緊急修繕、排水機場や樋門などの補修工事を行う。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・準用河川等浚渫工事　19箇所 ・準用河川等改修工事　8箇所 ・準用河川等補修工事　8箇所 ・排水機場の修繕　4箇所	・準用河川等浚渫工事　14箇所 ・準用河川等改修工事　3箇所 ・準用河川等補修工事　22箇所 ・排水機場の修繕　4箇所	・準用河川等浚渫工事　14箇所 ・準用河川等改修工事　4箇所 ・準用河川等補修工事　16箇所 ・排水機場の修繕　8箇所	・準用河川等浚渫工事 ・準用河川等改修工事 ・準用河川等補修工事 ・排水機場の修繕 ・準用河川小山川、法信川の測量設計業務委託（R5繰越分） ・準用河川法信川河床洗堀復旧

成果	河川施設（準用河川、排水路、排水機場）の浚渫工事を計画的に実施したことや、迅速に河川施設の補修工事等を実施したことにより、本来の排水機能の確保を図った。
課題	施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、工事費の平準化を図る必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	70,580	69,747	71,475	115,900
財源 特定財源	7,254	6,297	38,095	84,804
財源 一般財源	63,326	63,450	33,380	31,096
職員人件費　②	8,782	9,110	9,975	11,242
総事業費（①＋②）	79,362	78,857	81,450	127,142

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	河川占用料 市町村振興協会基本交付金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	71,474,700 円
需用費	9,949,500 円
工事請負費	61,525,200 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	2	排水機場改修事業	水資源部	雨水対策課	施設管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	排水機場の機械設備等を改修し、常に安定した排水能力を保持するとともに、長寿命化を図り、浸水被害を防止する。	
主たる内容	排水機場の機器の更新やポンプの分解整備等を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・北浦排水機場　配電盤更新 ・吹戸川水門 操作盤更新 自家発電機更新 （R2繰越分） ・三ツ又排水機場 ポンプ整備	・集中監視システム回線更新 ・高須三橋排水機 水中ポンプ更新ほか （R3繰越分） ・天王、高松排水機場 ポンプ盤更新ほか	（R4繰越分） ・高松排水機場 3号ポンプ分解整備 ・浜田第一排水機場 空気圧縮機ほか更新 ・三ツ又排水機　水位計更新 ・北浦排水機場　電動機更新	（R5繰越分） ・高須排水機場 ポンプ盤ほか更新 ・湯揚排水機　ポンプ盤更新

成果	高松排水機場他3施設の設備を更新したことにより、安定した排水機能の確保を図った。
課題	施設の老朽化に伴い、工事費の平準化及び更新計画の検討が必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	改修ポンプ数（基）	1	1	1	－	2
活動指標	改修排水機場数（箇所）	3	3	4	2	2

他市との比較検証	「排水機場維持管理計画」に基づき、近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	149,215	136,176	69,130	83,420
財源　特定財源	43,363	80,536	63,550	83,420
財源　一般財源	105,852	55,640	5,580	0
職員人件費　②	3,445	3,990	5,371	5,040
総事業費（①＋②）	152,660	140,166	74,501	88,460

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	前年度繰越金
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	69,129,800 円
工事請負費	69,129,800 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	2	雨水貯留浸透施設設置補助事業	水資源部	雨水対策課	計画係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	雨水対策（内水対策）

目的	雨水貯留浸透施設の設置者に対し、補助金を交付することにより、設置件数を増加させ、雨水流出の抑制を図る。	主たる内容	定められた額と設置費用の2/3のいずれか低い額を補助する。補助金の上限は、一団の土地につき20万円まで。 ○補助対象施設 雨水貯留施設 （2基まで1基当たり上限25千円） 雨水浸透ます 雨水浸透管 雨水浸透側溝 透水性舗装

位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン
	根拠法令	刈谷市雨水貯留浸透施設設置事業補助金交付要綱

対象者	市民、事業者	事業期間	平成１６年度　～
実施方法	□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・設置件数 20件 雨水貯留施設　19件 透水性舗装　1件 ・補助金額　538,500円	・設置件数　16件 雨水貯留施設　16件 ・補助金額　356,300円	・設置件数　6件 雨水貯留施設　5件 浸透桝　1件 ・補助金額　165,000円	・設置件数　18件

成果	・新たに6件の雨水貯留施設が設置されたことにより、雨水流出抑制効果が得られた。
課題	・ホームページ、市民だより、出前講座等による雨水貯留施設設置の啓発活動と合わせて、より多くの方々が利用しやすくなるような補助制度の検討を行う必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	雨水貯留浸透施設の年間設置数（件）	20	16	6	18	20
指標						

他市との比較検証

・雨水貯留浸透施設の補助金額は、補助率と上限額を比較して、低い額を支給している。

市　名	碧南市	安城市	知立市	高浜市	刈谷市
補助率（設置費用を対象）	1／2	1／2	2／3	1／2	2／3
補助額（200Lタンク）	25,000円	25,000円	25,000円	22,000円	25,000円

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		539	356	165	1,000
財源	特定財源	146	0	20	150
	一般財源	393	356	145	850
職員人件費　②		1,779	2,296	898	1,589
総事業費（①＋②）		2,318	2,652	1,063	2,589

５年度事業費内訳	
合計	165,000 円
負担金、補助及び交付金	165,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	社会資本整備総合交付金
７年度以降の事業費見込	0	

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	3	2	準用河川耐震化事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	河川堤防の耐震化に向けた調査を実施し、必要により対策工事を実施することで、地震後の排水機能の確保及び津波等による浸水防止を図る。	
主たる内容	調査河川　9河川 調査延長　3,820m（左岸右岸計）	
位置づけ	関連計画	第3次刈谷市地震対策アクションプラン
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	平成３０年度　～　令和１３年度	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
――――	・堤防二次点検　450m ・地質調査　3箇所	――――	――――

成果	
課題	他事業の進捗に合わせ、未調査区間の堤防二次点検を行う必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
活動指標	二次点検進捗率（%）	28.6	71.4	71.4	71.4	71.4
活動指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）	５年度事業費内訳
事業費　①		0	8,118	0	0	合計　0 円
財源	特定財源	0	0	0	0	
財源	一般財源	0	8,118	0	0	
職員人件費　②		0	0	0	0	
総事業費（①＋②）		0	8,118	0	0	

建設事業			
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称	
５年度までの累積事業費	0		
７年度以降の事業費見込	0		

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	8	5	1	雨水管管理事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	雨水対策（内水対策）
目的	雨水管の管理を適正に行い、雨水排水機能の保全を図る。	
主たる内容	雨水管の修繕及び清掃を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	下水道法
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・雨水管清掃　1箇所 ・雨水管修繕　1箇所 ・管路施設測量設計業務委託	・雨水管修繕　1箇所 ・雨水管移設工事　58m	・雨水管調査　1箇所 ・雨水管修繕　1箇所	・雨水管調査 ・雨水管清掃 ・雨水管修繕

成果	雨水管渠内の調査や破損箇所の修繕を適切に行った。
課題	施設の老朽化に伴い補修費が増加するため、計画的に工事を行う必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	9,317	27,188	1,276	1,660
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	9,317	27,188	1,276	1,660
職員人件費　②	4,277	3,576	4,719	4,071
総事業費（①＋②）	13,594	30,764	5,995	5,731

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	1,276,260 円
需用費	924,000 円
役務費	11,260 円
委託料	341,000 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	9	1	4	雨量観測システム管理事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	雨量観測システムの安定的な運用を図り、リアルタイムの気象情報を広く市民に公開する。	
主たる内容	雨量観測システム保守管理	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	平成２５年度　～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託	・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託 ・無停電電源装置更新工事	・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託 ・雨量計更新工事（北部市民センター、小垣江市民センター）	・雨量計他機器保守管理委託 ・雨量観測システム保守管理委託 ・雨量計更新工事（小山排水機場、東刈谷市民センター）

成果	降雨量等の情報を市民に周知することができた。
課題	

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①	2,706	3,014	6,551	3,789
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	2,706	3,014	6,551	3,789
職員人件費　②	1,476	1,054	921	1,085
総事業費（①＋②）	4,182	4,068	7,472	4,874

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳	
合計	6,550,500 円
委託料	2,700,500 円
工事請負費	3,850,000 円

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	11	2	2	農業用施設災害復旧事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	産業環境
基本施策	農業
施策の内容	生産基盤の強化と保全

目的	主たる内容
災害により被害を受けた農業用排水施設の復旧を図り、安全性を確保する。	災害により被害を受けた場合、復旧工事を行う。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
――――	――――	――――	――――

成果	
課題	

指標名称（単位）		実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		0	0	0	2,500
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	2,500
職員人件費　②		0	0	0	0
総事業費（①＋②）		0	0	0	2,500

５年度事業費内訳
合計　0 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

令和６年度（令和５年度評価）刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	11	3	2	河川災害復旧事業	水資源部	雨水対策課	工務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	都市基盤
	基本施策	治水・水辺環境
	施策の内容	河川施設等の改修
目的	災害により被害を受けた河川等の復旧を図り、市民生活の利便性・安全性を確保する。	
主たる内容	災害により被害を受けた場合、復旧工事を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

３年度実績	４年度実績	５年度実績	６年度計画
――――	――――	――――	――――

成果	
課題	

指標名称（単位）	実績値 ３年度	実績値 ４年度	実績値 ５年度	目標値 ６年度	目標値 ８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		３年度（決算）	４年度（決算）	５年度（決算）	６年度（予算）
事業費　①		0	0	0	21,000
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	21,000
職員人件費　②		0	0	0	0
総事業費（①＋②）		0	0	0	21,000

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	５年度特定財源名称
５年度までの累積事業費	0	
７年度以降の事業費見込	0	

５年度事業費内訳

合計　0 円